

## 強稈・多収で醸造特性の優れる水稻新品種「はなかくら」について

山下 浩・滝田 正<sup>1)</sup>・永吉嘉文・堤省一朗・若杉佳司・吉岡秀樹・川口 満・日高秀光・荒砂英人<sup>2)</sup>・蘭田豊和<sup>3)</sup>・愛甲一郎<sup>4)</sup>(宮崎県総合農業試験場・<sup>1)</sup>東北農業試験場・<sup>2)</sup>宮崎県南那珂農業改良普及センター・<sup>3)</sup>宮崎県児湯農林振興局・<sup>4)</sup>宮崎県農政水産部)

Hiroshi YAMASHITA, Tadashi TAKITA, Yoshifumi NAGAYOSHI, Seitchirou TSUTSUMI, Keiji WAKASUGI, Hideki YOSHIOKA,

Mitsuru KAWAGUCHI, Hidemitsu HIDAKA, Hideto ARASUNA, Toyokazu SONODA and Ichirou AIKOU :

A New Rice Cultivar "Hanakagura"

水稻新品種「はなかくら」は、2000年に宮崎県において奨励品種（認定）に採用された。ここに本品種の育成経過並びに特性概要を報告し、普及の参考に供したい。本品種の育成に関し、ご協力いただいた関係機関各位に深く謝意を表する。

## 1. 来歴および育成経過

本品種は、中～晩生、強稈の良質酒米品種育成を目標に、晩生、強稈の「南海113号」を母に、醸造特性は優れるが耐倒伏性に難点がある「山田錦」を父として人工交配を行った組合せから育成された。1996年F<sub>2</sub>世代より「南海145号」の地方系統名を付し、奨励品種決定試験に供試した。2000年10月に「水稻農林371号」と登録、「はなかくら」と命名された。

## 2. 特性の概要

1) 形態的特性:「山田錦」と比較すると、稈長は短い‘やや長’で、穂長は同程度の‘やや長’、穂数はやや少ない‘やや少’、草型は穂重型、稈の太さは同程度の‘やや太’である。止葉はやや垂れるが、草姿は「山田錦」より良好である。葉色は‘緑’である。芒の有無と多少は‘少短’である。ふ先色と穎色は‘黄白’で粒着は‘やや疎’、脱粒性は‘中’である。

2) 生態的特性:出穂期、成熟期とも「山田錦」より3日程度遅く、育成地では‘中生の晩’に属する。稈の剛柔は‘やや剛’で、耐倒伏性は「山田錦」より強い中である。玄米収量は「山田錦」より優る。いもち病抵抗性遺伝子型は *Pii* を持つと推定され、圃場抵抗性は葉いもちに‘やや弱’、穂いもちに‘中’である。白葉枯病圃場抵抗性は‘中’、縞葉枯病には罹病性で、穂発芽性は‘やや易’である。

3) 品質および醸造特性:梗種で、玄米の形状は‘中’、粒大は‘大’で、粒重は「山田錦」と同程度である。心白の発生率とタンパク質含有量は「山田錦」に近く、酒米品質は良好である。醸造される酒は酸度、アルコール濃度、日本酒度とも「山田錦」よりやや高く味わいのあるやや辛口である。

## 3. 奨励品種採用理由

宮崎県における酒米品種は、北西部中山間地帯を中心に地元醸造会社との契約栽培で「山田錦」が約3 ha 作付されている。「山田錦」は醸造特性が優れるが耐倒伏性に大きな難点があり、実需者から酒米増産の要請があるものの作付は拡大しておらず、一般主食用品種である「ほほえみ」「黄金晴」「ヒノヒカリ」を掛け米に転用し、地元醸造会社に販売している状況である。このため、生産者からは栽培特性の優れる酒米品種、実需者からは醸造特性が優れ安定して供給の可能な品種に対する強い要望がある。

「はなかくら」は「山田錦」とほぼ同熟期で、耐倒伏

性や収量性に優れ、醸造特性も「山田錦」とほぼ同程度と良好であり、「山田錦」に加えて新たな面積拡大が見込まれる。

## 4. 栽培上の注意

- 1) タンパク質含量を高めないため、多肥栽培を避ける。
- 2) いもち病抵抗性は十分でないので、防除を徹底する。

第1表 「はなかくら」の特性概要

品種名	はなかくら	山田錦	ヒノヒカリ
早晩性 草 型	中生の晩 穂重型	中生の中 穂重型	中生の中 偏穂重型
出穂期(月・日)	8.25	8.22	8.22
成熟期(月・日)	10.1	9.28	9.27
稈長(cm)	83	103	82
穂長(cm)	20.0	20.5	19.3
穂数(本/m <sup>2</sup> )	322	373	380
芒の多少・長短	少短	無	稀短
ふ先色	黄白	黄白	黄白
ふ色	黄白	黄白	黄白
脱粒性	中	中	難
耐倒伏性	中	弱	やや弱
耐 病 性	葉いもち (抵抗性遺伝子) <i>(Pii)</i>	やや弱 (+)	やや弱 <i>(Pia, i)</i>
	穂いもち 白葉枯病 縞葉枯病	中 中 罹病性	やや弱 やや弱 罹病性
玄米重(kg/a)	54.3	47.7	54.9
同上標準比(%)	114	(100)	115
玄米千粒重(g)	26.4	26.5	22.7
玄米粒厚 (2.1mm以上, %)	53.3	29.9	14.0
玄米品質	3上	2下	1下
心白発生率(%)	60.9	69.1	—
白米蛋白含量(%)	6.4	6.1	5.8
醸 造 適 性	酸度 日本酒度 アルコール度	2.1 +5.3 17.1	1.6 +4.8 16.6